西大寺北地区地域ミーティング
（通算第１１９回）

開催日	平成２９年２月１４日（火）
開催時間	午後６時３０分～午後８時
会場	西大寺北地域ふれあい会館
参加者	５７名

地　域　課　題	市　の　回　答
１．菖蒲池２号踏切は、西大寺北幼稚園・西大寺北小学校・伏見中学校の通学路であり、また奈良自動車学校の練習車が出発する発進路にもなっている。大和中央道敷島工区が間もなく開通するとさらに混雑するため、同踏切を拡幅することについて	１．拡幅するためには用地買収が必要であるが、一部未買収部分については事情により進まない。車が通るところが傷んでいて、菖蒲池４号踏切のように既製品のコンクリートブロックのようなものを並べてゴムのマットを使用する構造に変えたいと近鉄が言っており、市が費用を半分負担して、車道と歩道を色によって明示するとともに、少しでも広げていくように協議していきたい。路側帯は一般的には７５ｃｍぐらいの幅で作るので、それぐらいは欲しいと近鉄に伝えている。
２．平城２号踏切は西大寺北小学校の通学路で、農作業者や奈良ファミリーに行かれる方等も通られるが、土の表面がでこぼこしていて危険なので、改修後に通りやすくなった菖蒲池４号踏切と同じような改修を望むことについて	２．平城２号踏切も菖蒲池４号踏切のようにリニューアルする方向で、協議を進めていきたい。一度にできるかどうかはわからないが、市の方で費用を半額負担するということで進めていきたい。
３．近鉄西大寺駅近隣の開かずの踏切（菖蒲池８号踏切等）の解消について（※近年国土交通省のホームページで踏切安全通行カルテとして大々的に取り上げられ、重要課題として国が改修の必要性を感じている今、早期	３．県から駅の立体化と平城宮跡の近鉄線の移設を一体的に考えていきたいと聞いており、線路の平面交差を改善すべく駅の二層化を前提として問題点、課題等の整理が進められている。市としても県とまちづくりに関する包括協定書を締結しており、早期に計画案を立案できるよう県・市・近鉄が協力しながら取り組んでいきたい。

実現に向けて動くべきであることについて）	
４．西大寺駅の橋上化について	４．西大寺駅の南北自由通路について、昨年１２月に議会の承認を得て基本協定を近鉄と市で結び、着工という形になった。自由通路の昇降口は、北側は改札のあるあたりに設け、南側は現在駅前広場を作っている北側に設ける。約７ｍの幅でデッキを設けて改札を２階部分に作る。駅へ入らなくても人が自由に通れ、エレベーターを使って自転車も反対側へ行けるようになる。平成３２年をめどに事業を終えたい。
５．新斎苑に関する進捗状況について	５．市の火葬場は大正５年にでき、今年で１０１年目の大変古い施設で、老朽化が著しく建て替えを図るため、取り組みを進めている。現在地から約１．２㎞東の山中に土地を確保し、計画している。昨年１２月議会で予算を可決いただき、現在都市計画の手続をしている。その後造成工事、建設工事を行い、平成３２年度中に完成する。
６．クリーンセンターに関する進捗状況について	６．二代前の市長の時代に現在の左京から移転するという公害調停を結び、議会も全会一致で移転を決議されており、それを引き継いでいる。この間、候補地周辺の住民のご理解を得るための取り組みをしている。火葬場に比べればまだ新しい施設であるが、最新の施設に一日も早く更新したい。
７．地域自治協議会設立に関する進捗状況について	７．昨年３月議会で条例は否決になったが、市自治連合会あるいは検討委員会で熱心な議論が続けられている。地域自治協議会のあり方についてはまだまだ議論する必要があり、今後市としても検証、改善策を進め、設立に向けての人材育成の研修や人的支援のサポートを行い、より円滑に運営、設立できるよう支援していきたい。
８．県道谷田奈良線で近鉄京都線を越えてあやめ池の方へ約３００ｍ上がったあたりの点滅信号のところは、通学路であるが、	８．平成２８年度に西大寺北地域で行った交通安全点検プログラムには入っていなかったので、別途対応を考える必要がある。県道なので、県とも調整し、通学路・スクールゾーンだから徐行せよという啓発を行う

あやめ池方面からはカーブで見えにくく、下り坂で車のスピードが出て、大変危険であることについて	等対策はいろいろあると思われるので、現況を確認の上、学校や自治会とも相談して、調査・検討していきたい。